

【シラバスⅡ】令和7年度 評価規準

教科名 保健体育		科目名 保健・保体（1年）		
時期	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
4～7月	【現代社会と健康】 ア 健康の考え方 イ 現代の感染症とその予防 ウ 生活習慣病などの予防と回復	○国民の健康課題について、指標や疾病構造の変化を通して理解できる。 ○個人や集団の健康についての考え方が変化してきていることを理解できる。 ○ヘルスプロモーションの考え方に基づき自らの健康を適切に管理することが必要であることを理解できる。 ○感染症および生活習慣病のリスク軽減・予防に必要な要素について理解できる。	○現代社会と健康・安全な社会生活とに関わる事象や情報から、自他や社会の課題を発見することができる。	○学習や実習、活動に自主的・主体的に取り組むことができる。
8～12月	【現代社会と健康】 エ 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 オ 精神疾患の予防と回復 【安全な社会生活】 ア 安全な社会づくり	○喫煙・飲酒は心身の健康を損ねることを理解できる。 ○薬物の乱用は心身の健康・社会安全に対し深刻な影響を及ぼすため決して行ってはならないこと理解できる。 ○喫煙・飲酒による健康課題の防止や薬物乱用防止のために必要な個人への働きかけおよび社会的対策について理解できる。 ○精神疾患の特徴を理解し、予防に必要な要素および回復方法について理解できる。 ○交通事故の現状と発生要因について理解できる。 ○事故防止のために必要な運転者の資質と責任、社会的対策について理解できる。	○各分野の健康課題について情報や事例を整理し、比較・分析・実生活へ応用することができる。 ○様々な健康課題における自他や社会の取組について評価することができる。 ○課題の解決方法を見つけ、適切な選択をすることができる。また、選択した理由等について話し合ったり、記述したりして筋道を立てて説明することができる。	○自他や社会の健康課題および健康の保持増進について興味関心を持つことができる。 ○他者との意見交換や活動の中で主体的にアイデアを提案・表現し合意形成しながらまとめることができる。 ○実習・実験を通し実証的な問題解決を自ら主体的に行うことができる。
1～3月	【安全な社会生活】 イ 応急手当	○応急手当の意義を理解できる。 ○日常的な応急手当の方法や、心肺蘇生法およびAEDの使用法について正しく理解し、実習を通して身に付けることができる。		
主な評価方法 【全領域（単元）共通】		(1)授業および学習への取り組み方・言動の観察 (2)発問への回答内容等 (3)ノート・プリント・学習カード等への記述の仕方や内容等 (4)意見の共有・ブレインストーミング・ロールプレイング・グループディスカッション・調査研究および発表・情報整理と考察・プレゼンテーション等の活動の過程における言動観察および成果物・発表内容等 (5)実習（応急手当・心肺蘇生法等）による知識・技能の習得度 (6)定期考査		
その他 (1)「主な評価方法」に挙げる項目に基づいて、各観点を横断的・総合的に評価する。 (2)授業数によって実施時期が多少前後することがある。その際は、前・後期末ごとにそこまで授業で取り扱った単元を「内容のまとめ」として評価する。				